

京都市都心部のまちなみ保全・再生に係る審議会

第1回審議会資料

市政総合アンケートの結果(抜粋)

平成13年1月15日

調 査 概 要

1. 調査テーマ 「京都の都心におけるまちなみのあり方」
2. 調査目的 市民が、京都の都心のまちなみに対してどのような意識を持ち、今後どのようなまちづくりを望んでいるのかを尋ね、これからのまちづくりの資料とする。
3. 調査対象 20歳以上の市民3,000人
(住民基本台帳及び外国人登録データから無作為抽出)
4. 調査方法 回答用紙への記入方式(郵送)
5. 調査期間 平成12年8月1日(火)～平成12年8月15日(火)
6. 回収状況 回収数 1,624 (回収率 54.1%)
うち有効回答数 1,618 (回収率 53.9%)

7. 回答者属性

<区別内訳>

区	人数	百分比
北	147 ^人	9.1 [%]
上京	109	6.7
左京	187	11.6
中京	114	7.0
東山	59	3.6
山科	137	8.5
下京	82	5.1
南	98	6.1
右京	210	13.0
西京	168	10.4
伏見	292	18.0
無回答	15	0.9
計	1,618	100.0

<性別年齢別内訳>

年代	男	女	無回答	計	百分比
20歳代	90 ^人	131 ^人	1 ^人	222 ^人	13.7 [%]
30歳代	99	135	2	236	14.6
40歳代	108	130	1	239	14.8
50歳代	145	203	1	349	21.6
60歳代	136	153	7	296	18.3
70歳以上	105	135	15	255	15.8
無回答	3	7	11	21	1.3
計	686	894	38	1,618	100.0
百分比	42.4	55.3	2.3	100.0	

<職業別内訳>

職業	人数	百分比
自営業	223 ^人	13.8 [%]
会社員	523	32.3
公務員	450	27.8
主婦	42	2.6
学生	292	18.0
無職	74	4.6
その他	14	0.9
無回答	14	0.9
計	1,618	100.0

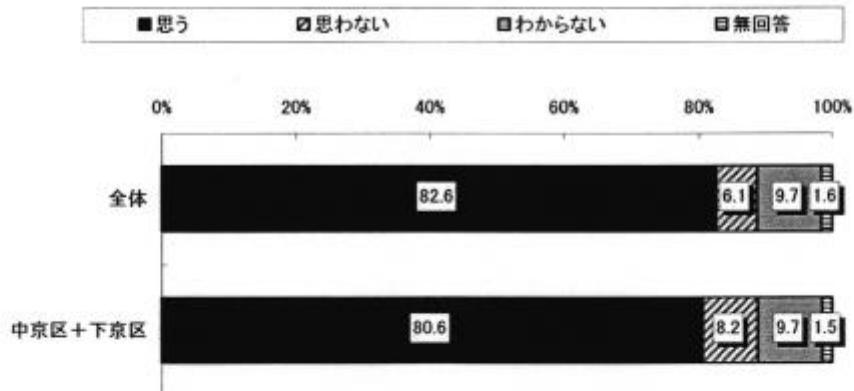
[職住共存地区について]

問3 あなたは、「職住共存地区」に数多く残る京町家について、これからも都心に残しておくべきだと思いますか。次の中から1つを選んで、○印をつけてください。

- | | |
|---------------|-------|
| 1 思う | 82.6% |
| 2 思わない | 6.1% |
| 3 わからない | 9.7% |
| (無回答) | 1.6% |

京町家を残しておくべきだと思う市民は8割以上

全体では、京町家を残しておくべきだと「思う」と回答された方が82.6%で、一方、「思わない」と回答された方は6.1%でした。



男女別では、京町家を残しておくべきだと「思う」と回答された方は、女性が84.5%で男性の81.5%を少し上回りました。

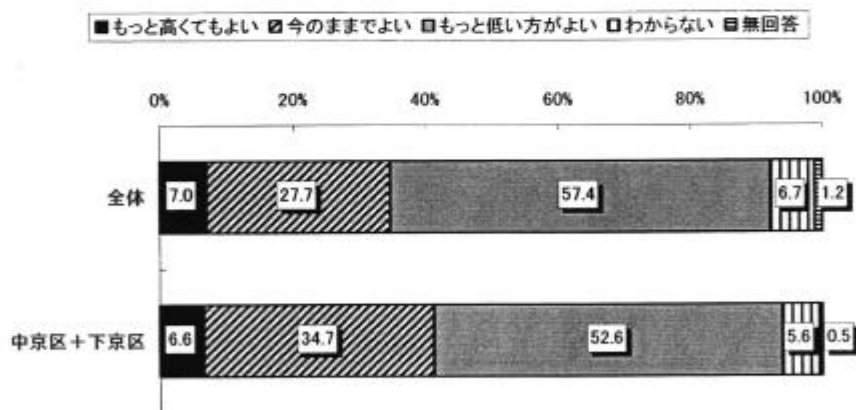
年代別では、「思う」と回答された方は、20歳代が84.7%、30歳代が82.6%、40歳代が84.1%、50歳代が83.1%、60歳代が83.4%、70歳以上が78.4%という結果でした。

問7 近年、「職住共存地区」に建てられているマンションの多くが、高さ30メートル（10階ないし11階）程度です。あなたは、これについてどう思いますか。

1 もっと高くてもよい	7.0%
2 いままでよい	27.7%
3 もっと低い方がよい	57.4%
4 わからない	6.7%
(無回答)	1.2%

マンションの高さは、もっと低い方がよいが、57.4%

全体としては、「職住共存地区」に建てられているマンションの高さは「もっと低い方がよい」が最も多く57.4%の方から回答がありました。以下、「いままでよい」と回答された方27.7%、「もっと高くてもよい」と回答された方7.0%と続きました。



男女別では、「もっと低い方がよい」と回答された方は、女性が62.0%で男性の52.9%を上回りました。一方、「もっと高くてもよい」は、男性が10.9%と女性の4.0%を上回る結果になりました。

年代別では、「もっと低い方がよい」と回答された方は、20歳代が55.9%、30歳代が58.1%、40歳代が61.9%、50歳代が62.2%、60歳代が56.8%、70歳以上が49.8%という結果でした。

(問7で1と答えた方にお尋ねします。)

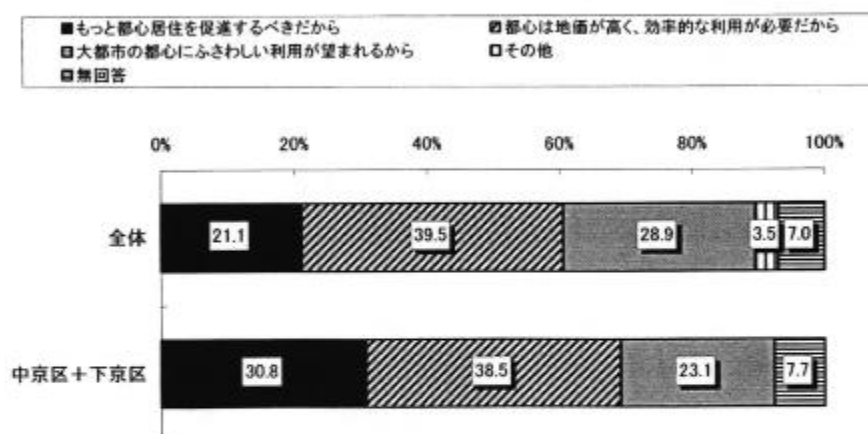
問8 あなたが、「職住共存地区」のマンションについて、もっと高くてもよいと思う理由は何ですか。

次の中から1つを選んで、○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1 もっと都心居住を促進すべきだから | 21.1% |
| 2 都心は地価が高く、効率的な利用が必要だから | 39.5% |
| 3 大都市の都心にふさわしい利用が望まれるから | 28.9% |
| 4 その他 () | 3.5% |
| (無回答) | 7.0% |

マンションについて、もっと高くてもよいとする最大の理由は、都心は地価が高く、効率的な利用が必要だから

全体では、「都心は地価が高く、効率的な利用が必要だから」が39.5%で最も多く、以下、「大都市の都心にふさわしい利用が望まれるから」が28.9%、「もっと都心居住を促進すべきだから」が21.1%と続いています。



男女別では、特に目立った特徴はありませんでしたが、「都心は地価が高く、効率的な利用が必要だから」と回答された方は、男性が40.0%で女性の38.9%を少し上回りました。

年代別では、「都心は地価が高く、効率的な利用が必要だから」と回答された方は、20歳代が50.0%、50歳代が56.5%と半数を超えています。

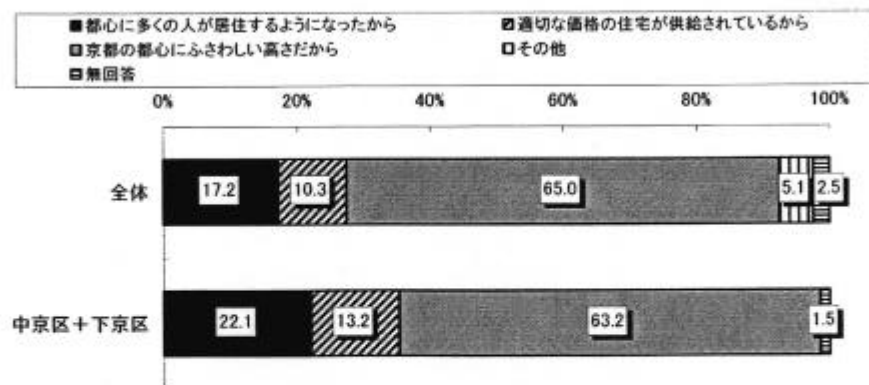
(問7で2と答えた方にお尋ねします。)

問9 あなたが、「職住共存地区」のマンションの高さについて、いまのままでよいと思う理由は何ですか。次の中から1つを選んで、○印をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1 都心に多くの人が居住するようになったから | 17.2% |
| 2 適切な価格の住宅が供給されているから | 10.3% |
| 3 京都の都心にふさわしい高さだから | 65.0% |
| 4 その他 () | 5.1% |
| (無回答) | 2.5% |

マンションの高さについて、いまのままでよいとする最大の理由は、京都の都心にふさわしい高さだから

全体では、「京都の都心にふさわしい高さだから」が65.0%で最も多く、以下「都心に多くの人が居住するようになったから」が17.2%、「適切な価格の住宅が供給されているから」が10.3%と続いています。その他の回答では、「土地の利用効率と居住環境とのバランスがとれているから」や「もっと低くてもよいと思うが、住民の利便性等を考慮して」などがありました。



男女別では、特に目立った特徴はありませんでしたが、「京都の都心にふさわしい高さだから」と回答された方は、女性が65.2%で男性の64.7%を少し上回りました。

年代別では、「京都の都心にふさわしい高さだから」と回答された方は、50歳代を除いて、年代が上になるほど多く、20歳代が46.6%、30歳代が50.0%、40歳代が70.2%、60歳代が77.1%、70歳以上が79.8%という結果でした。

(問7で3と答えた方にお尋ねします。)

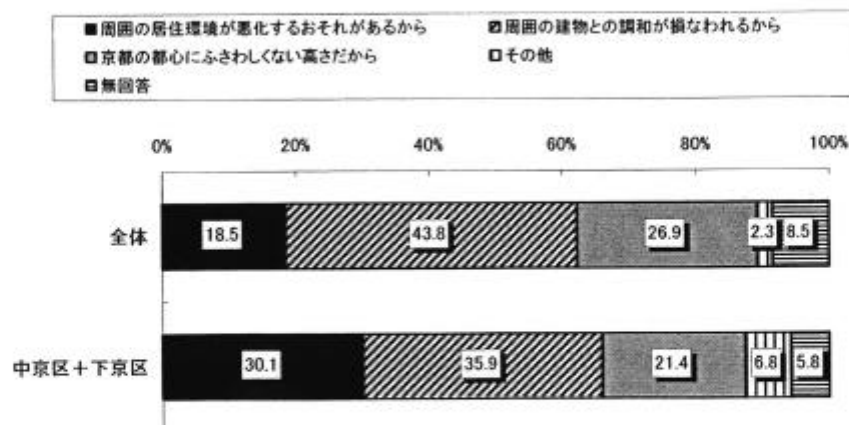
問10 あなたが、「職住共存地区」のマンションについて、もっと低い方がよいと思う理由は何ですか。

次の中から1つを選んで、○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------|
| 1 周囲の居住環境が悪化するおそれがあるから | 18.5% |
| 2 周囲の建物との調和が損なわれるから | 43.8% |
| 3 京都の都心にふさわしくない高さだから | 26.9% |
| 4 その他 () | 2.3% |
| (無回答) | 8.5% |

マンションの高さについて、もっと低いほうがよいとする最大の理由は、周囲の建物との調和が損なわれるから

全体では、「周囲の建物との調和が損なわれるから」が43.8%で最も多く、以下「京都の都心にふさわしくない高さだから」が26.9%、「周囲の居住環境が悪化するおそれがあるから」が18.5%と続いています。その他の回答では、「京都の歴史、文化を継承した大事な建物、地域だから」や「他都市と同じようなまちになる」などがありました。



男女別では、特に目立った特徴はありませんでしたが、「周囲の建物との調和が損なわれるから」と回答された方は、女性が43.9%で男性の43.5%を少し上回りました。

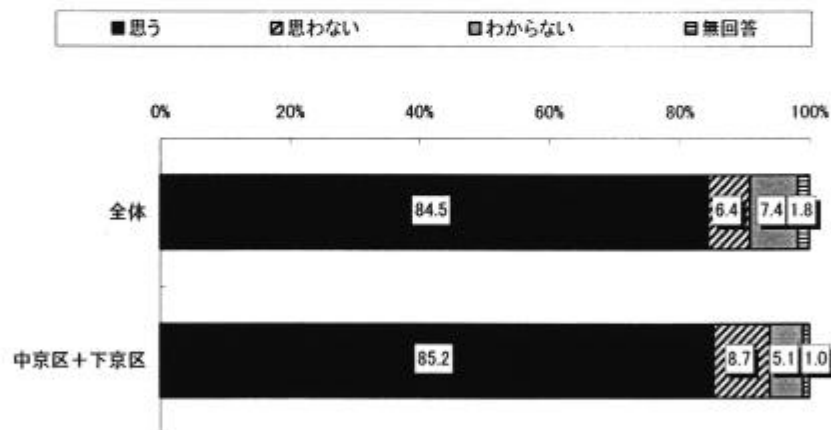
年代別では、「周囲の建物との調和が損なわれるから」と回答された方は、20歳代が49.2%、30歳代が46.7%、40歳代が48.0%、50歳代が39.2%、60歳代が48.2%、70歳以上が33.1%という結果でした。

問11 「職住共存地区」における、京町家などによって構成される歴史的なまちなみについて保全すべきだと思いますか。次の中から1つを選んで、○印をつけてください。

- | | |
|---------------|-------|
| 1 思う | 84.5% |
| 2 思わない | 6.4% |
| 3 わからない | 7.4% |
| (無回答) | 1.8% |

「職住共存地区」の歴史的なまちなみを保存すべきだと思う市民は約85%

全体としては、京町家などによって構成される「職住共存地区」の歴史的なまちなみを保存すべきと「思う」と回答された方が84.5%に上りました。一方、「思わない」と回答された方は6.4%という結果になりました。



男女別では、「思う」と回答された方は、女性が86.8%で男性の83.1%を上回る一方、「思わない」と回答された方は、男性が10.1%と女性の3.1%を上回りました。

年代別では、特に目立った特徴はなく、「思う」と回答された方は、20歳代が86.0%、30歳代が88.6%、40歳代が85.4%、50歳代が88.0%、60歳代が83.8%、70歳以上が76.9%という結果でした。

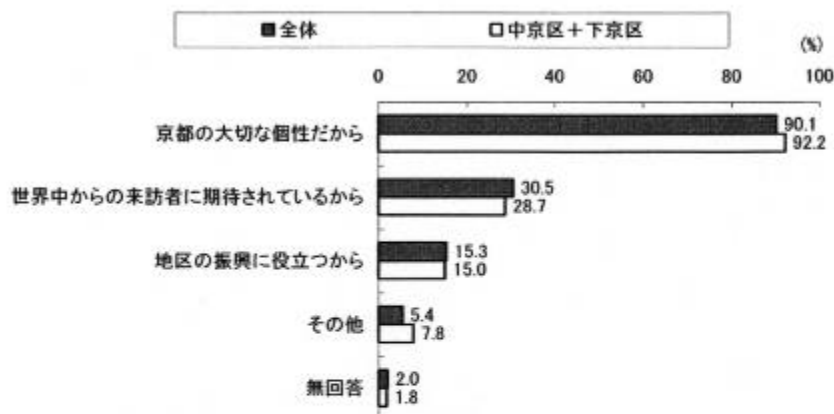
(問11で1と答えた方にお尋ねします。)

問12 「職住共存地区」の歴史的なまちなみを保全すべきと考える理由は何ですか。当てはまると思われるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1 京都の大切な個性だから | 90.1% |
| 2 世界中からの来訪者に期待されているから | 30.5% |
| 3 地区の振興に役立つから | 15.3% |
| 4 その他 () | 5.4% |
| (無回答) | 2.0% |

「職住共存地区」の歴史的なまちなみを保全すべきと考える理由は、京都の大切な個性だからが90.1%

全体としては、「京都の大切な個性だから」と回答された方が90.1%で最も多く、以下、「世界中からの来訪者に期待されているから」が30.5%、「地区の振興に役立つから」が15.3%と続きました。その他の回答では、「心のふるさとになりうるものだから」や「京都らしい落ち着きがあるから」などがありました。



男女別では、特に目立った特徴はありませんでしたが、「京都の大切な個性だから」と回答された方は、女性が90.3%で男性の90.2%を僅かに上回りました。

年代別では、「世界中からの来訪者に期待されているから」と回答された方は、20歳代を除き、年代が上になるほど多く、30歳代が22.0%、40歳代が24.5%、50歳代が28.0%、60歳代が33.5%、70歳以上が46.4%という結果でした。